

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クロッカ東大井		
○保護者評価実施期間	2025年1月27日		~ 2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年1月27日		~ 2025年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の部屋が他児と同室になるため、他児がいることで生じる課題にもマンツーマンでアプローチを行っていくことができる。	タイマーやスケジュール表、パーテーション等の視覚的な手がかりも交えながら支援を実施することで、お子さんにも集中してもらいやすい環境を整えている。	足形マットの使用等、お子さんたちの状態や状況に応じた支援ツール等を取り入れていくことで支援の充実を図っていけるよう取り組む。
2	療育後に保護者とフィードバックの時間を確保することで、保護者と丁寧に療育の共有が図れるようにしている。	スマートフォンからも支援時の記録の閲覧が行えるよう工夫している。	お子さんの発達や支援等の面談等を行う機会を設けることで、よりお子さんの情報共有が図れる機会を増やしていく。
3	手順表や絵パネル等の掲示を行うことで、お子さんが行動に移しやすい環境設定が行えている。	提示するカ所をお子さんの目線に合わせる、やって欲しいことが見てわかるようにシンプルなイラストで作成する等の工夫を行っている。	適時、利用しているお子さんたちの様子に目を配り、必要と思われる視覚的支援ツールは増やしていけるよう取り組んでいく。また、情報過多にならないように、適時、設置場所の検討等を行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学関連の情報等、地域の情報把握ができていない。	お子さんに関する公的な情報や地域のイベント等を、開設間もないことから把握し切れてない。	施設側より、地域に働き掛ける機会や保護者様のニーズを汲み取る場を設けていくことで、地域連携及び関連情報の周知等が図っていけるよう取り組んでいきたい。
2	粗大運動系の身体を大きく使った課題になると状況によっては実施しきれないことがある。	同室に他のお子さんもいるため、粗大運動が行えるスペースに限りがある。	空きスペースや時間を調整したりすることで、身体を使用した課題も実施していけるように工夫している。
3			